

令和7年度 第2回 能美市特別職報酬等審議会 議事要約	
日 時	令和7年4月21日（月）午後1時30分～
場 所	能美市役所 1階 大会議室
議 題	能美市議会議員の報酬について
出 席 者	北出秀樹委員、村上信男委員、平田美実委員、上田美智子委員、 角越茂樹委員、前田英夫委員、曽根達也委員
会議形態	非公開
会議次第	1. 開会 2. 議事録の確認 3. 審議 4. 閉会
決定事項	・ 報酬について何を判断基準としていくらまで引き上げるべきか、委員間で協議したものの、結論が出るに至らなかった。 ・ 報酬額について次回審議を続ける。 ・ 第3回審議会 令和7年5月1日（木） 午後1時30分～
議 事	事務局による資料説明の後、質疑応答をふまえ、各委員が意見交換を行った。 【主な意見】 ・ 議員報酬引き上げには賛成だが、議員の地区割りなどなり手の意欲を阻害するような要因が仮にあるのであれば、それを取り除くよう検討いただきたい。若い世代や意欲ある人が議員となり活性化してくれるように。 ・ 地方公共団体の一般職の職員の給与改定など、議員報酬の改定にあたって考慮すべき事項について、国からの通知で示されていることが確認できてよかった。 ・ 野々市市の方が能美市よりも人口が若干多いにもかかわらず、議員数が少ない。引き上げは賛成だが、気になるところ。 ・ 報酬引き上げには賛成で、若い人にも議員を志してもらえればと思っているが、報酬引き上げによる財政支出増に対し、どこをどう切り詰めるのか。 ⇒（事務局説明） 合併協議会では、議員の定数は18人が適切とされていたが、議会の自助努力により令和3年11月からは定数16人で活動している。結果として支出の抑制が図られてきたとご理解いただきたい。 ・ 費用弁償は金沢市と能美市だけが支給されている。廃止の検討を。 ・ 議員報酬の適正額について、人口規模を切り口の一つに考えられないか。 ・ 適正額を考える切り口はいろいろあるが、市民に理解いただける説明が必要。 ・ 引き上げ後の報酬額の妥当性をしっかり検証し、議員の皆さんへの提言も盛りこんだ答申にしたい。